

## 令和3年度 第1回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和3年6月18日（金）午後2時～

場所：犬山市役所2階201・202会議室

出席者：18名中18名

### 1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための諸連絡を行う。犬山市地域公共交通会議の委員数18名に対し、本日は18名が出席されている。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。

傍聴者（4名参加）について、説明を行う。

また、代理出席、配布資料について説明を行う。資料10の質疑応答のため、犬山市健康福祉部高齢者支援課（2名）の出席を報告する。

### 2 会長及び副会長選任

【事務局】 犬山市地域公共交通会議規則に基づき、会長の選任について、委員からの互選を促す。

【松浦委員】 磯部委員を会長に推薦したい。

全会一致で磯部委員が会長に就任する。

【磯部会長】 会長就任に当たっての挨拶を行う。

【磯部会長】 犬山市地域公共交通会議規則により、犬山市市民部部長の中村委員を副会長に指名する。

### 3 議事

【磯部会長】 議事要旨の署名に、宮地委員、木本委員を指名する。

#### （1）協議事項

##### ■ 生活交通確保維持改善計画（案）について

【事務局】 資料1-1、1-2生活交通確保維持改善計画（案）の説明を行う。

別表については、中部運輸局愛知運輸支局様の指導・確認を受け、運行事業

者あおい交通株式会社と作成する。

**【磯部会長】** この資料は毎年出しているもので、令和3年10月から1年間フィーダー系統に対して補助をもらう。フィーダーは植物の木に例えると根っこの部分にあたり、細く単独ではなかなか成り立たないが、根がないと育たないので補助をしていこうというもの。市内の対象になっているコミュニティバス路線に対し、今後どれだけの利用者がいるのかしっかりつかんでいき、コロナ禍だが、想定の数値を出し、この書類を提出する。皆様からご意見ありますか。

**【飯坂委員】** 2ページ目の事業の効果について。事業計画なので、効果をどのような形で検証していくのか。「高齢者などの交通弱者の移動手段が確保され医療機関や商業施設等へ」とあるが、医療機関を使って高齢者が予防医学的な対応をしている。愛知県の中でも犬山市の高齢者65歳以上の方は健康管理が良く、費用負担が非常に少ない。医療機関の活用による医療費の軽減という表現にした方がより事業効果の検証の言葉としては適切ではないか。また、高齢者が家の中にいて買い物難民などの問題が出ているが、コミュニティバスにより解消されている。事業効果をもう少し高く現状を評価し、さらに加速していくという表現がいいのではないか。

目標を達成するために行う事業及びその実施主体について。高齢者団体としていつも要望しているが、現在の高齢者の足としてタクシー券の問題がある。行政としてここ5、6年進んでいないと思っている。高齢者のタクシー券の補助の問題ももう少し掘り下げるとか、これに絡めてデマンドバスの導入の問題などを取り上げていただけるとコミュニティバスをよく利用する高齢者にとって非常に助かる。

**【磯部会長】** こういう効果がありそうだというのはよいが、検証・確認する方法も検討するというのも入れた方がいいのではないかという一つの提案です。もう一つは、タクシーなど活用しているので、フィーダーの計画だが、市全体の交通の支援の仕方とのバランスで、どこかでふれた方がいいのではないかというご意見です。事務局の回答を。

**【事務局】** 事業の効果については、医療機関の部分と外出機会増加の部分をもう少し詳しく記載したいと思う。会長と中部運輸局愛知運輸支局と調整する。

目標を達成するために行う事業は、各部署との連携が必要になるので、補助

金の計画の中に入れることができるかはわからないが、地域公共交通計画の策定もあるので検討していく。

【木下委員】 1 ページ目。新型コロナウイルスの影響でバスの利用者が減っている。コロナの影響が出る前の年度と比べて未だ3割減くらい。愛知県内どこの地域でもおおむねそういう傾向である。令和2年度事業と比べて9割としている。令和元年10月から翌年1年分。この半年はコロナの影響は出ていない中で、9割の目標は、実現可能な目標ということで共有されているか。

【事務局】 この計画の事業年度とは別で、4月～3月で推移をみると、平成30年12月の再編で路線等を増やしており、実績人数は再編前7～8万人、再編後10万人、12万人と増加傾向にあり、一番多い時で令和元年度に12万人。コロナの関係で犬山市も利用者が減少しているが、令和2年度の実績が8万8千人、令和4年度事業の約9万2千人は何とか達成できるのではないかと想定している。

【木下委員】 3 ページ目の7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】ということで、今は該当なしでよいが、昨年度に活性化再生法の改正があり、令和7年度事業からは法定協議会を補助対象事業者とする必要があることを改めて伝える。

【磯部会長】 再編を行いプラスの効果がある一方でコロナによりマイナスの影響が出ている。そういった説明を入れた方がよろしいか。別で用意した方がよりよいか。いつもこの表を見ると必ず聞かれる話かと思うので、取りまとめておいた方がいいのか。中部運輸局さんいかがか。

【木下委員】 愛知運輸支局としての公式なコメントではないが、目標設定した根拠を詳しく書いておいた方がいいのではないか。コロナで未曾有の事態であり実績も大きく減っているので、この資料は資料でいいかもしれないが、なぜこのような目標設定をしたのか理由をきちんと説明できるようにしておいてください。

【磯部会長】 説明したものを別途資料として用意してもらえばいいかと思う。ほかによろしいか。

【委員】 なし

【磯部会長】 よろしければ、先ほどの効果の部分は、私どもが書き加え、確認するという

条件でこれを認めるということによろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 異議なしということで協議が調った。

■ 県道長洞今井線の工事完了に伴う路線の変更及び迂回ルートの廃止について

【事務局】 資料2「県道長洞今井線の工事完了に伴う路線の変更及び迂回ルートの廃止について」の説明を行う。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【委員】 なし

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

(2) 報告事項

【事務局】 資料3 路線等変更予定日の変更について（栗栖・富岡線）

資料4 わん丸君バス 利用実績報告

資料5 わん丸君バス 利用者アンケートについて

資料6 わん丸君バス 車体広告・車内放送の募集について

資料7 わん丸君バス キャッシュレス決済の導入について

資料8 わん丸君バス ワクチン接種者無料乗車について

資料9 地域公共交通計画の策定について

資料10 移動支援事業について（進捗報告）

の説明を行う。

【事務局】 資料にはないが、総合犬山中央病院が、年明けから数年がかりで建て替え工事を行う。わん丸君バスの総合犬山中央病院バス停については、8路線中7路線が停車するバス停であり、次回の再編はもちろんだが、再編までの期間についても路線等に影響してくる可能性がある。

最短で令和4年1月から工事が始まるため、工事開始のタイミングで、路線等の変更が必要となった場合は、8月か9月に地域公共交通会議の場での協議をお願いすることとなる。今後総合犬山中央病院様との調整の結果次第のため、改めて知らせる。

【磯部会長】 どこからでもいいので、各委員からご意見は。

中部運輸局さんお願いします。

【木下委員】 資料9の地域公共交通計画の件で、何点かお伺いしたい。

地域公共交通計画は県内の自治体でも策定している所がでてきている。ホ

ホームページにも載っているのですが、参考にしてほしい。計画はどこも同じ構成となっている。

第三者の意見を伺うということで、専門家の名前が挙がっているが、パブリックコメントを実施する手続きも予定しているのか。

**【事務局】** 作成した段階ではパブリックコメントを実施したいと考えている。

**【木下委員】** 一般市民の意見等も反映できる場所はしていただきたい。

みなさん初めて策定するものなので、大変な労力がかかるかと思うが、私ももできる範囲で支援はする。何かあれば相談を。

あと一点。資料7のキャッシュレスについて。実際、キャッシュレス決済を導入している所がでてきている。わん丸君バスの良い動きだと思っている。ただ、傾向として、導入直後は利用があるものの、徐々に利用率が下がっていくところがある中でどうやって周知していくかが課題のひとつである。周知の方法は、広報、ホームページ、SNS、車内PRなどとなっているが、コミュニティバスの主な利用者層が高齢者だとすると、スマートフォンを使って、例えばQRコードを読み込むなど、若い方には当たり前の事でも難しいようなので、使い方を解りやすく説明するなどの取り組みも併せてお願いしたい。バス停にもこういうキャッシュレス決済ができると周知していただければ。

**【事務局】** キャッシュレス決済については、当然、多く使われる方が高齢者という事で、スマートフォンをそもそも持っていない方もいるのでなかなか難しいが、できる限り丁寧に、持っている方は使うことができるようにしていきたい。

**【松浦委員】** キャッシュレス決済について、あおい交通では、他の路線でも使い始めている。定額の場合はQRコードを読み込んだらそれで終わり、タクシーではQRコードを読み込んだあと数字の入力が必要。金額を200円と100円と設定して、QRコードを読み込ませれば瞬時にその金額が落ちるので、名古屋空港、豊山町で導入している。他のコミュニティバス路線でも問題なく使われている。読み込むだけなので、うまくいくと思う。

**【飯坂委員】** 資料3。栗栖・富岡線で令和に入って福祉会館の廃館、市分庁舎の廃館などで、新しくできた市の福祉活動センターを利用する人が多くなった。バス停を近郊に新設してもらえないか。あるいは南別祖のバス停を移動してもらえないかということを事務局へお願いしている。福祉活動センターを利用する人が多い。交通の便が悪いと言われている。その辺が今日現在行政にどう入っているのかと今後の見通しについて伺いたい。

資料5。アンケートを取った場合でもパブリックコメントを行った場合でも分母がどうであったのかが一番問題である。特に、資料5の「その他」の意見を単純に足すと21人しかいない。回答数が113人だが、年間乗車数

標 10 万人としているが、統計として これを使ってよいのかと思った。

パブリックコメントも取った取ったと言うが、どれくらい取ったのか、市民の声を聞きました、というだけでは問題がある。

パブリックコメントやアンケートならば、少なくとも 2 千、3 千件の母数が必要だと思う。その辺の考えを聞かせていただければと思う。

【事務局】

資料 3。市の施設へのアクセスが悪い件ですが、このタイミングで一緒に変更するのは難しいが、令和 4 年度中に再編を考えていきますので、検討事項とさせていただきます。委員の方からだけではなく、窓口や電話などでも市民の方からいろいろなご意見を受け付けている。それらもデータをまとめており、再編の際にすべて検討していく。

資料 5 のアンケートについては、再編の際に利用する目的ではなく、利用者の考えを把握するためのものである。確かに少ない。再編に向けて、今年度、市民無作為で 2～3 千人単位のアンケートを実施予定である。

【佐藤委員】

総合犬山中央病院です。事務局からの説明の通り、病院は建替えを検討しており、同じ病院敷地内での建て替えを検討している。グランドオープンは 2024 年（令和 6 年）の秋を予定している。それに伴い、敷地内工事を早ければ来年から始めることを検討している。建替え工事に伴い、敷地内のバス停の場所の移動等が必要と思われる。また、病院敷地内への進入と、敷地外へ出るルート of 検討が必要。病院を利用する方々の利便性、不都合が無いよう、安全に乗り降りしていただけるよう、検討を重ねているので協議会のみなさまにご協力いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【磯部会長】

随時いろいろと情報交換してほしい。完成後も従前よりもより良い乗り場を確保できればと期待している。

ほかにご意見ありませんので、以上をもって本日の議事を終了する。

【事務局】

磯部会長におかれましては会議のとりまとめありがとうございました。また、委員の皆様にはご審議をいただきありがとうございました。また、今後とも意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上をもちまして本日予定の会議を終了いたします。ありがとうございました。お帰りの際は、交通安全にご留意いただきますようお願いいたします。

以上

令和3年 6月 29日

本書は、令和3年6月18日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 木本正則

署名人 宮地瑛子

